



# しきゆたか速報



J A 福井県  
福井基幹支店  
多収米部会

目標単収を適期管理で越えていく!!

● 移植: 幼穂形成期、直播: 来週にかけて幼穂形成期。葉色4以下は穂肥を散布!!

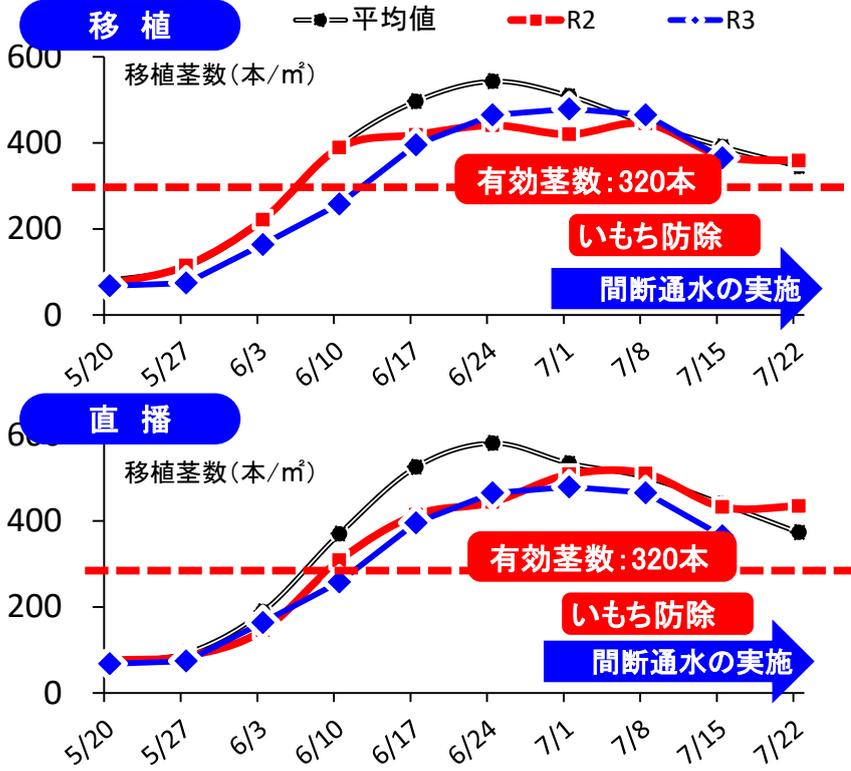
梅雨入り後の降水量はかなり多く圃場内ニカメイチュウ・いもち病の発生が見られます。圃場によっては葉色の低下と病害虫の発生が見られます。梅雨明けは7月下旬の見込みです。各圃場の生育状況と病害虫の発生を確認し的確な肥培管理をおこないましょう。

## しきゆたかの管理

### 1. JA生育調査状況 (7月15日現在)

| 栽培区分 | 年度 | 平均作業日 | 草丈 cm | 茎数 m <sup>2</sup> | 葉令   | 葉色  |
|------|----|-------|-------|-------------------|------|-----|
| 移植   | R3 | 5月3日  | 80.2  | 364.8             | 11.1 | 4.5 |
|      | R2 | 5月1日  | 87.1  | 369.3             | 11.2 | 4.5 |
| 直播   | R3 | 5月5日  | 80.2  | 555.5             |      | 4.2 |
|      | R2 | 5月2日  | 75.7  | 432.3             | 10.5 | 4.6 |

### 2. 茎数の推移と今後の管理



『移植』幼穂形成期。『直播』来週にかけて幼穂形成期の見込みです。各圃場の葉色を確認し、葉色4以下は穂肥を散布。また、ニカメイチュウ・いもち病の発生が見られます。出穂前の病害虫防除を徹底しましょう。

#### 移植

#### 直播

- 穂肥: 葉色4以下  
アグリフラッシュ444: 7~15kg/10a
- 水管理: 間断通水の実施
- 穂イモチ病: ブラシン粉剤  
(使用量: 3~4kg, 2回以内、収穫7日前)
- 穂イモチ・紋枯病・カラムシ類: チームワーク粉剤  
(使用量: 3~4kg, 2回以内、収穫7日前)
- ニカメイチュウ: パダン粒剤4  
(使用量: 3~4kg, 6回以内、収穫30日前)

- カラムシ類予防: 畦畔の草刈り (出穂までに実施する。)



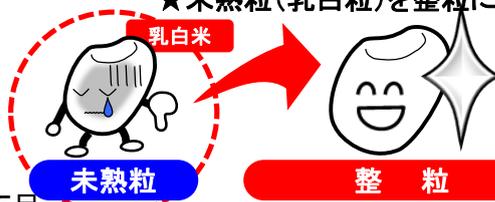
### 3. 多収米のポイント

多収米は籾数が多く・大粒であるため未熟粒や乳白粒になりやすい。高単収で等級を落とさないために、幼穂形成期の肥培管理は重要です。7月下旬の出穂までの葉色に注意して、穂肥を散布しましょう。

しきゆたかの等級

|    | 1等    | 2等    |
|----|-------|-------|
| R2 | 50.3% | 49.7% |

★未熟粒(乳白粒)を整粒に変える肥培管理!!



- 水管理: 間断通水
- 穂肥: N1~2kg、出穂直前まで  
移植: 7月30日頃まで  
直播: 8月10日頃まで
- 病害虫防除の徹底

格落ち理由: 未熟粒による整粒不足。

(1等: 70%以上・2等: 60%以上)

的確な穂肥管理で、収量アップを目指しましょう。今週の多収米速報は『西部支店』が担当しました。